

□要請番号 (JA46319202)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	派遣期間	派遣時期
エジプト	C402 養殖	20~45 歳のみ	個別	短期 6カ月	2020年3月以降



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業省

2) 配属機関名（日本語）

ワールドフィッシュ アバッサ研究センター

3) 任地（シャルキーヤ県） JICA事務所の所在地（カイロ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

1975年に設立されたワールドフィッシュ(本部マレーシア)は世界の飢餓と貧困撲滅を目標とし、開発途上国での水産・養殖分野での技術開発、それに携わる周辺住民の生活向上等、多岐に渡り支援を行う、国際非営利団体である。エジプトでは1998年のアバッサ研究センター設立に伴い支援が開始された。ワールドフィッシュは現在JICAや他ドナーと協力し、エジプト、及び全世界の養殖人材育成を行う他、魚の消費拡大、ヨーロッパ諸国への輸出に向けた食品加工の訓練等を進めている。現在エジプトでのスタッフ数は50名、年間予算はおよそ2百万ドル。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

エジプトにおける養殖は過去20年で飛躍的に開発され、現在世界第6位の養殖大国(アフリカ大陸では1位)にまで成長した。しかし魚消費の全体の需要にはまだ供給が追いついておらず、今後も生産向上に向けた養殖振興・技術普及が求められている。エジプトでの養殖はほぼ100%が淡水魚、主な種類にナイルティラピアがある。

配属先はエジプト国内外での養殖振興・技術普及を政府、他外国ドナーと共に担っているが、更なるサービスの改善に向け、各部門の強化・改善が必要である。隊員には各種研修・研究へのサポートと日本での経験を生かした助言が求められている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1,2,3のうち、自身の専門に関係する研究をサポートし助言を行う。また4,5についても適宜配属先同僚と協力して実施する。

- 1.資源循環型養殖
- 2.気候変動対応型養殖技術開発
- 3.養殖生産システムの比較
- 4.対外国人研修生への養殖技術研修
- 5.対地域住民への養殖振興セミナー

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

国際機関の研究施設であり、日本の大学や研究施設にある機材等各種揃っている。また研究センター敷地内には研究用の養殖池・農場がある。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

研究センタースタッフ(職員は5-6人(総務・エンジニア・研究者等)、それ以外に各国からの研修生、留学生等が滞在している。

活動対象者:

1,2,3は対象は配属先同僚

4,5は研修参加者、地域住民

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

エジプトアラビア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : (大卒) 備考:水産系大学卒

[性別] : () 備考 :

[経験] : () 備考 :

[参考情報] :

- ・水産・養殖分野についての知識

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (砂漠気候) 気温: (5~35°C位)

[電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水源] : (安定)

【特記事項】

住居は研究センター内のスタッフ用住居を予定しており、都市部への訪問回数は限られる。

同内容の案件を2件募集中であり、複数派遣になる可能性有。適宜連携し活動を行うことが可能。

【類似職種】

・水産開発

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。